

果実肥大は「幸水」、「豊水」いずれも平年と比べて大きくなりました。病害虫の発生も少なく、生育は順調です。関東地方は、6～8月にかけて気温が高くなる見込みです。

【気 象】

■気象条件

日平均気温は、5月第4半旬までは平年より高く推移しましたが、5月第5半旬には2℃程度低くなり、第6半旬は平年より3℃程度高くなりました。6月からは平年並～低く推移しました（表1）。降水量は、5月第1半旬や第5半旬は平年を上回りました。また、6月3日には台風6号が接近し、6月第1半旬が平年を大幅に上回りました。日照時間は、5月第3～4半旬は平年の2倍近く多くなりました。5月第5半旬以降は平年並～やや少なく推移しています。

関東甲信地方の梅雨入りは6月7日頃となり、前年比で16日遅く、平年比で同日となりました。

表1. 令和8年5～6月の気象（アメダス佐倉）

月	半旬	平均気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（hr）		
		本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
5月	1	18.7	17.1	16.6	61	74	16	35	38	31
	2	19.2	17.4	17.1	3	41	19	29	20	29
	3	18.5	19.1	17.6	0	10	22	55	34	28
	4	21.8	21.5	18.2	0	19	23	59	16	30
	5	16.8	19.5	19.0	79	22	22	17	14	30
	6	23.0	16.8	19.6	2	53	23	32	15	35
5月平均/計		19.8	18.5	18.1	145	218	127	226	137	179
6月	1	20.1	20.2	20.0	103	31	19	19	28	27
	2	18.9	22.6	20.4	30	9	23	13	20	24

注1) 平年は平成3年～令和2年の30年間の平均

注2) 表の数値は表示単位未満を四捨五入しているため、表中の数値から計算した値と平均が一致しない場合がある。

【生育状況】

■果実の肥大

6月10日の果実の大きさを満開後日数の横径で比較すると、「幸水」では平年と比べ、農林総研が105%、市川市が105%といずれも大きくなりました（表2）。「豊水」では平年と比べ、農林総研が108%、鎌ヶ谷市が105%といずれも大きくなりました。

表2. 基準調査園における生育調査の結果（6月10日）

品種	調査地	樹齢	横径（cm, (%)）			縦径（cm, (%)）			着果数 個/樹
			果径	暦日	満開後	果径	暦日	満開後	
幸水	農林総研	22	3.96	(109, 117)	(100, 105)	3.34	(105, 115)	(98, 104)	247
	市川市	41	4.13	(111, 120)	(103, 105)	3.45	(113, 116)	(105, 103)	並
豊水	農林総研	46	3.96	(98, 114)	(95, 108)	3.69	(95, 115)	(92, 108)	361
	鎌ヶ谷市	22	4.21	(110, 121)	(102, 105)	3.86	(108, 119)	(102, 105)	並

注) 横径及び縦径の（ ）は、前年及び平年の値を100とした比で表した。

■作柄の予想

満開後 50 日の果径（農林総研）から予測される「幸水」の収穫果重は 344 g で、平年の 111%と大きくなっています。

「豊水」のみつ症は、満開後 91～100 日の日最高気温の平均値が低い年に多発する傾向にあります。農林総研では 7 月 6 日～15 日とその期間に当たるので留意が必要です。

気象庁（6 月 11 日発表）の 1 か月予報によると、気温が高く、降水量が多く、日照時間が平年並と発表されています。3 か月予報（5 月 19 日発表）でも、6～8 月の気温は高いと発表されています。

【栽培管理のポイント】

■仕上げ摘果の実施

「幸水」では、極小果や裂果を 7 月中旬頃に摘果します。黒星病発病果や変形果などは見つけ次第摘果します。他の品種についても変形果などは早めに摘果します。

■新梢管理

樹冠内部が混雑して日光の透過が悪い場合は早急に誘引や摘心などで対処します。「幸水」の予備枝は、6 月中下旬（新梢伸長停止直前）に予備枝ごと倒し、先端から伸長した新梢を仰角 20～30 度になるように誘引します。

■灌水・排水

灌水は土壌が乾燥する前に始めます。砂質土では 5～7 日間、その他の土壌では 10～15 日間まとまった雨がないうちに、10 a 当たりそれぞれ 15 t、20～30 t 灌水します。一方、梅雨の後半には集中豪雨が起りやすいので、水はけの悪い圃場では明渠などによる排水対策を行います。

■病虫害の発生予報

千葉県（6 月 15 日発表）の病虫害発生予報によると、向こう 1 か月間の予想発生量は、シンクイムシ類、カメムシ類がやや多、ハマキムシ類、アブラムシ類、黒星病が並となっています。ただし、カメムシ類については県北西部・北東部に多発生の恐れがあるとして 5 月 27 日に注意報が発生されていますので引き続き注意が必要です。

表 3. 協力調査地における生育調査の結果（6 月 10 日）

品種	調査地	樹齢	果径 (cm, %)		病虫害発生状況及び特記事項
			横径	縦径	
幸水	市原市	19	4.74 (114)	3.82 (109)	着果：やや良
	木更津市	26	4.50 (117)	3.70 (110)	着果：やや良 有てい果目立つ
	印西市	28	3.93 (109)	3.32 (110)	着果：並
	柏市	15	4.35 (110)	3.48 (108)	着果：やや良
	いすみ市	40	4.24 (103)	3.43 (86)	着果：並
	一宮町	25	4.14 (101)	3.50 (95)	着果：並
	香取市	33	3.71 (109)	3.25 (106)	着果：並
豊水	八千代市	20	3.59 (97)	3.38 (97)	着果：良 カメムシ発生
	館山市	23	3.94 (112)	3.75 (109)	着果：並
	旭市	25	3.96 (116)	3.65 (118)	
	香取市	23	4.07 (104)	3.84 (109)	着果：並
	四街道市	13	4.03 (99)	3.93 (108)	着果：並 有てい果が多い
あきづき	鎌ヶ谷市	27	3.51 (97)	3.05 (93)	着果：良
	船橋市	15	3.77 (101)	3.34 (106)	着果：並
	松戸市	28	3.72 (98)	3.01 (80)	着果：良 アブラムシ少発生
	いすみ市	17	3.38 (106)	3.07 (104)	着果：並

注) () 内の値は、前年対比を記載。

【生育情報の問合せ先：千葉県農林総合研究センター 果樹研究室 電話 043-291-9989】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/seiiku-zyoho.html>